

てびねり

六月号

平成22年6月1日発行
株式会社ゆしま陶助

特別展

誕生！中国文明

期日 7月6日～9月5日

場所 東京国立博物館平成館

遠い昔から日本に多大な影響を与え続けた中国の歴史を 王朝の誕生 技の誕生 美の誕生の3部に分けてご紹介する展示会です。古来、中国から日本に来たものは仏教をはじめ数多くありますが、日本は大きな影響を受けながら、日本独自に発展させたものも数多くあります。中国の文明誕生から進化したいく様を祭器、工芸品、陶磁器など150点の名品を見ながら、日本への影響などに思いを馳せるひと時をお楽しみください。



東京国立博物館HP参照 (佐藤)

(下) 金纏玉衣(きんるぎよくい) 美しい石をつなぎ合わせて作った位の高い死者が切る服。
(上右) 宋時代の金製アクセサリ。上流階級の人々が身につけたもの。
(上左) 三彩双龍耳瓶
東西交流の中で中国に伝えられた形で当時流行した代表的な陶磁器

◆今月の制作風景

□八島真弓さん
マグカップ制作中ですが、カメラが下手でお顔が見えません。申し訳アリマセン。



□新津恭子さん
手付片口鉢を制作しています



□渋谷洋子さん
大きな鉢カバーですね。慎重に透かし彫りを入れています。



□畑山菊恵さん(右)
□奥田智美さん(左)
いつも仲良しの二人ですが、今日も二人で下絵に夢中です。



□田口治喜さん
釉薬にとっぷり手を入れ出来上がりに思いを馳せる田口さん。



□小林和彦さん
面取りした器に下絵付け中。



□関口隆司さん
まだ少し厚いかな、ピアマグだからあまり薄くても...



□佐藤真理さん
面取り小鉢の寸法を測りながら楽しそうに削っています。



□山田みずほさん
カタログの絵柄を見ながら下書き中です。



□井口誠子さん
細かい面取りをした湯呑の形を整えています。



初級コース
□本間麻子さん(5月入会)



親子陶芸教室
□新井純子さん(4月入会)
新井愛加ちゃん(8歳)



一階に作品展示場
□一階入り口を開放して皆さんの作品を常時展示できるようにしました。
窯から焼きあがった作品をみなさんがお持ち帰りになるまでの期間この展示棚に陳列します。
なお、展示中にお客様からの要望があれば販売もできるようにしたいと思っておりますので、ご希望の方は園部講師にご相談ください。その場合はお1人3点までの展示にさせていただきます。
ゆしま陶芸倶楽部



今月の作品

□石田純子さん 「菓子皿」

マスキングテープを使いモダンな柄を付け油滴天目釉と鉄赤を掛けて制作しました。それぞれ柄が異なりますが、一体感があるすてきな皿です。



□吉川富美子さん 「盛鉢」

弁柄で鉄絵を付けた盛鉢。大きさも手ごろで黄瀬戸の色も形に合った良い作品です。



□菅原淑子さん 「花器」

高さが40センチ以上もあり、白マットにルリイラボを掛け還元焼成しました。お知り合いの方にプレゼントするそうですが、喜ばれるでしょうね。



□吉田利子さん 「水指」

アクセントに白萩釉を刷毛で塗り全体に透明釉を掛けました。品のある水指です。



□御手洗誠治さん 「焼耐カップ」

しっかりした形でシンプルですが重厚感のある器です。いかにも焼耐用にぴったりの感じがします。



□渡邊美知子さん 「湯呑」

織部にルリイラボを掛け合わせ下半分を焼きメにしました。還元焼成の際の斑も一つの柄になりました。



□柿沼ひろみさん 「飯碗」

白マットの下に弁柄で刷毛目をつけて、還元焼成で淡い感じに仕上げました。



□澤三紀さん 「陶箱」

四角い白土のかたまりをくり抜いて作った二段の陶箱。弁柄で下絵を描き織部焼風に仕上がるように焼きました。



□小窪猛さん 「染付鉢」

呉須で染付をし、全体に白マットを掛け、色を少し抑えた焼きにしました。



□保科典子さん 「平鉢」

油滴天目を掛け、ふちを刷毛で白萩を塗りました。現物は白が効いている素敵な平鉢です。



□田口治喜さん 「抹茶碗」

伊羅保とルリイラボの掛け分けをした抹茶碗です。釉薬の流れが景色になっていて面白いですね。 **作品は下段です**



作者名と作品の解説は上段左にあります。

□小畑明子さん 「どんすい」

白マットの上に油滴天目で刷毛目を入れました。とても面白い色合いに焼けました。



□金子裕子さん 「割山椒」

酸化焼成に織部でアクセントを入れた割山椒です。開き具合も丁度よく使いやすいそうです。



□高木照さん 「中鉢」

高木さんの本科初めての作品になります。黄瀬戸を掛けた中鉢です。使った感想をお聞かせ下さい。



□原田起久子さん 「平鉢」

少し厚めに掛けた織部に白萩を刷毛塗りしました。カレー皿に使うそうですが、パスタにも行けそうです。



見た事・聞いた事・読んだ事

今回は紙面の関係で休みます。ご了承ください。

ゆしま陶芸倶楽部 佐藤